

[復興支援道路（相馬福島道路）]

東北中央自動車道 あぶくまひがし阿武隈東道路
3月26日（日）に開通します
〈相馬福島道路では初めての開通〉

国土交通省 磐城国道事務所が事業を進めてまいりました東北中央自動車道阿武隈東道路が平成29年3月26日（日）に開通する見込みとなりましたのでお知らせいたします。相馬福島道路ではこの区間が初めての開通となります。
また、路線名及びインターチェンジ名も決定しましたので、併せてお知らせいたします。

【今回の開通により期待される効果】（別添参照）

- ①相馬市（玉野地区）の通行止めのリスクが回避され、災害時の代替路が確保されます
- ②相馬港と内陸部との連携が強化され、地域産業の活性化が期待されます
- ③福島県立医大病院への速達性・搬送中の安定性向上が期待されます
- ④相馬市の観光地・スポーツ施設等へのアクセス向上により、交流人口拡大を支援します

1. 開通区間

阿武隈東道路（そうまやまかみ相馬山上IC～そうまたまの相馬玉野IC） 延長10.5km

2. 開通日 平成29年3月26日（日）

- ※ 当日の開通時刻、開通式典等については後日お知らせいたします。
- ※ 自動車専用道路（無料）となりますので、歩行者、自転車、軽車両、及び125cc以下の二輪車は通行出来ません。

3. 路線名・IC名（正式名称）

◆路線名 **東北中央自動車道**（通称名：東北中央道）

◆インターチェンジ名

そうまやまかみ
相馬山上IC ←（仮称）相馬西IC

そうまたまの
相馬玉野IC ←（仮称）阿武隈東IC

発表記者會等：福島県政記者クラブ、いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、
南相馬市役所記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所

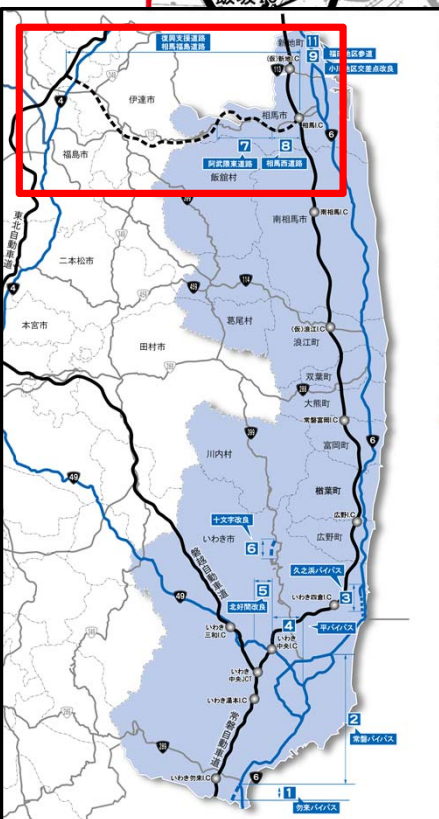
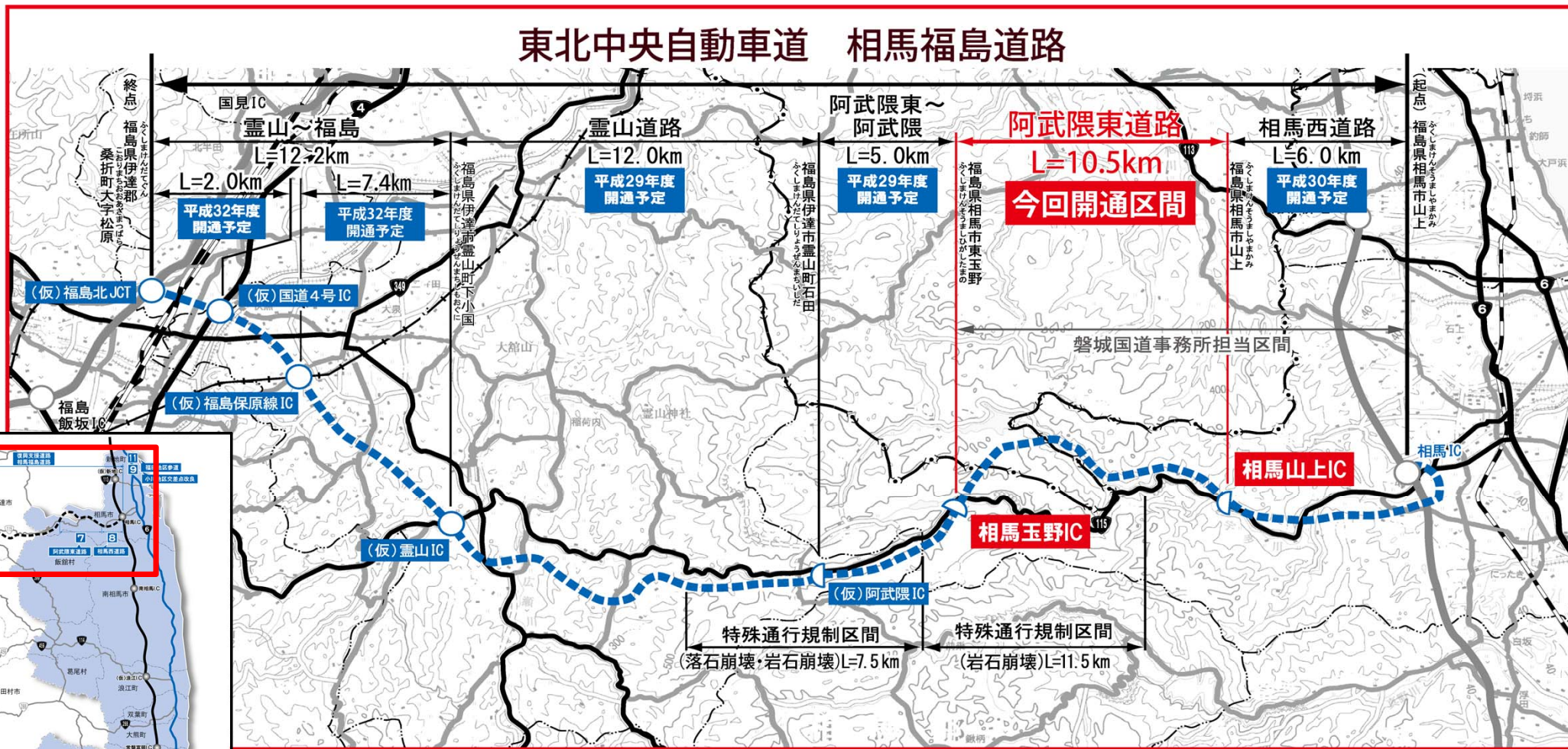
副所長 いしい石井 しげよし重好

工務課長 はしもと橋本 ゆきお幸雄

TEL 0246-23-2211（代表）

位置図

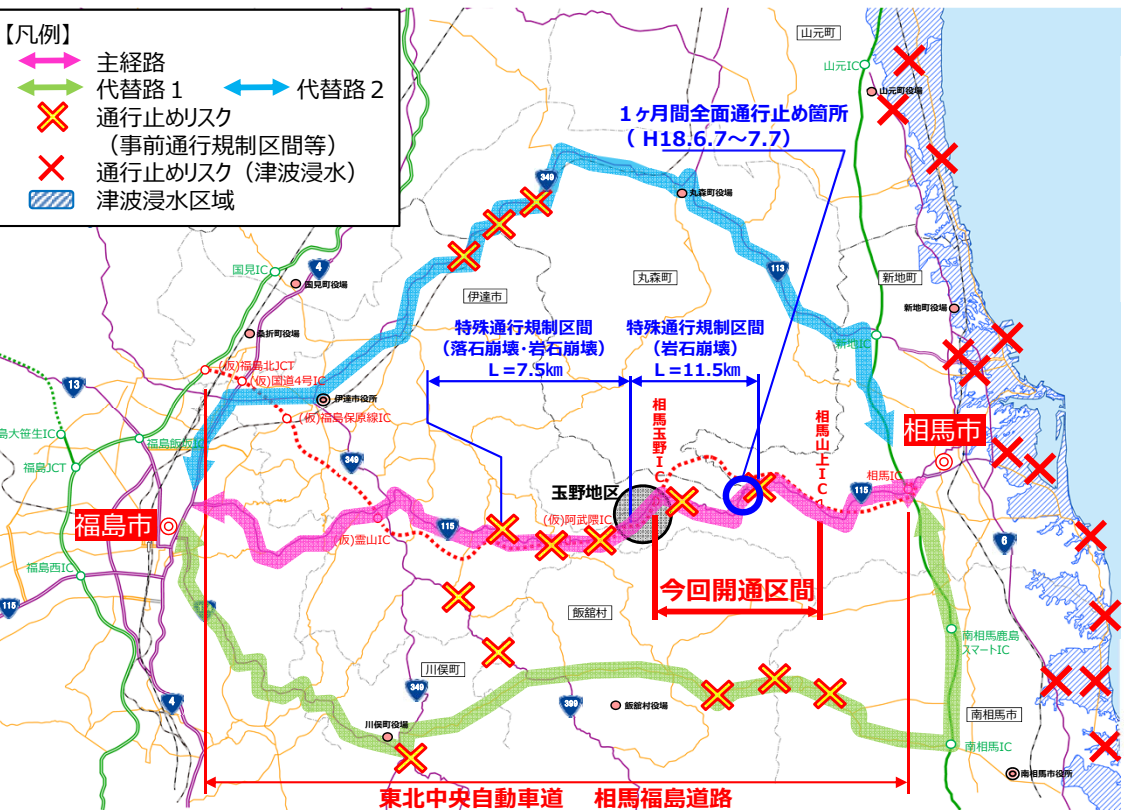
東北中央自動車道 相馬福島道路



期待される効果① 災害時の代替路確保

- ◆ 阿武隈東道路の並行現道区間においては、平成18年度に約1ヶ月間の全面通行止めが発生し、相馬市玉野地区では相馬市内へのアクセスが寸断
- ◆ 相馬福島道路の整備により、通行止めリスクが回避され、生活の安全・安心が確保

▼福島県県北地方と相双地方間の通行止めリスク

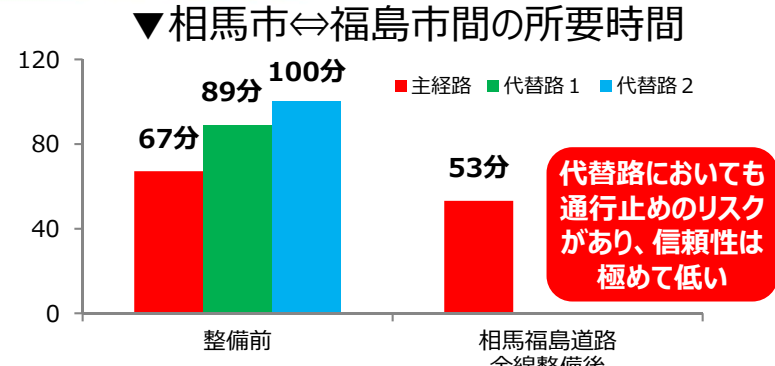


国道115号では災害による通行止めが頻発 (過去10年で14回の全面通行止めが発生)



【相馬市玉野地区長の声】

- 玉野地区住民は、相馬市街地へ通勤・通学し、病院や福祉施設にも通っています。
- 豪雨時や豪雪時などは、国道115号が通行止めとなることが多く、相馬市街地と行き来することができなくなり集落が孤立することがあります。
- 相馬福島道路が開通すると、通勤や買い物などの生活が便利になり、家族が安心して地元で暮らせるようになるため、一日も早い開通を望みます。



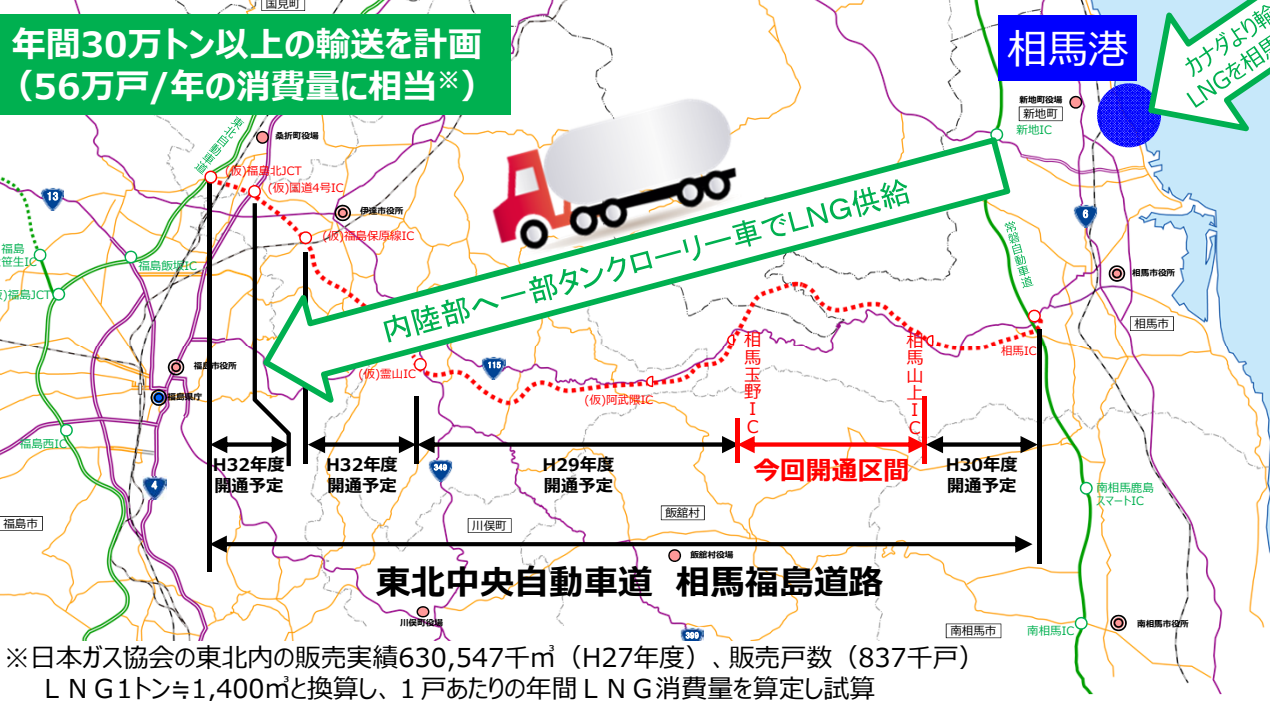
出典：平成22年度道路交通センサス
 主経路：国道115号經由 代替路1：原町川俣線經由 代替路2：国道113号經由

期待される効果② 相馬港と内陸部との連携が強化され、地域産業が活性化

- ◆相馬港に立地するLNG受入基地は平成29年度に操業開始を予定。内陸部へ年間30万トン以上の輸送を計画
- ◆相馬福島道路が開通すると、内陸部への安定確実なLNGの供給が可能
- ◆相双地区の企業にとっては流通エリアや営業エリアの拡大により、収益が上がり、地域産業の活性化・地域雇用拡大が期待

▼相馬福島道路を利用した新たな物流の動き

年間30万トン以上の輸送を計画
(56万戸/年の消費量に相当※)



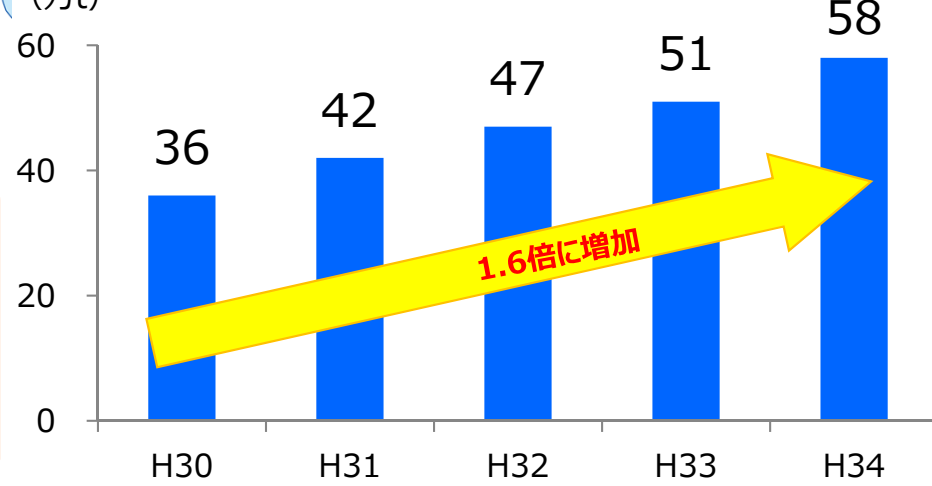
▼相馬LNG受入基地

H29年度操業開始予定 (地域では1万人規模の雇用の見通し)



出典：相馬港の復興状況H28.7.1 (福島県相馬港湾建設事務所)

▼相馬LNG基地需要量見込 (LNG受入量)



出典：石油資源開発株式会社

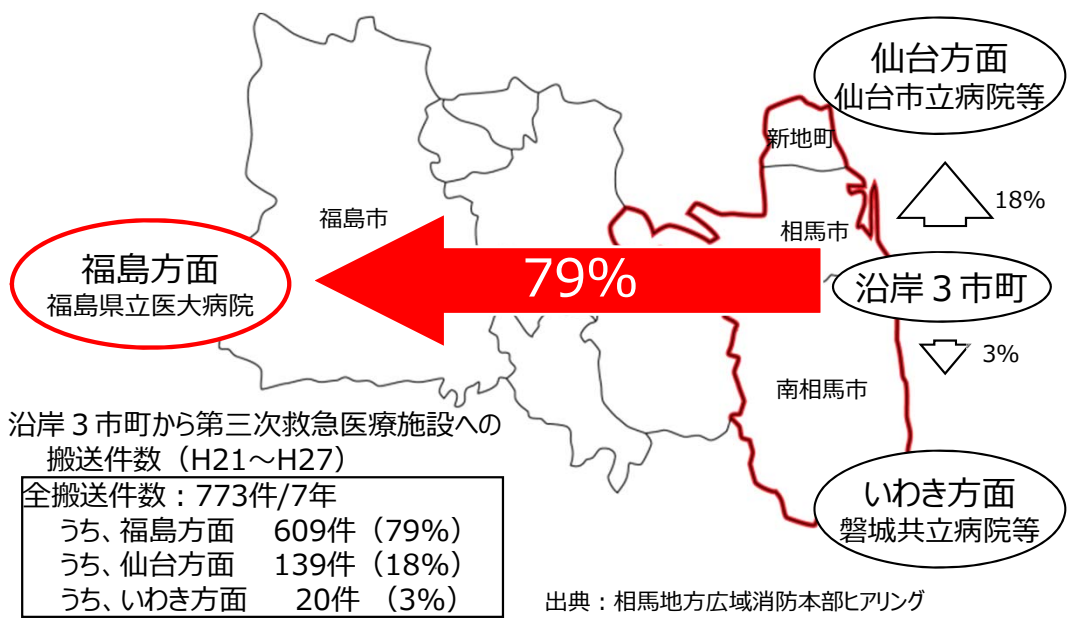
【相馬商工会議所の声】

- 平成29年度末に操業開始する相馬LNG基地の進出と併せて、関連企業の誘致を促進していきます。
- 東北中央自動車道 相馬～福島の開通は、相馬中核工業団地への企業誘致や相馬地方の地場産品、工業製品の出荷・流通エリアの拡大や、営業エリアの拡大が可能となり、相馬地域の地方創生に寄与するものと期待し、一日も早い開通を望みます。

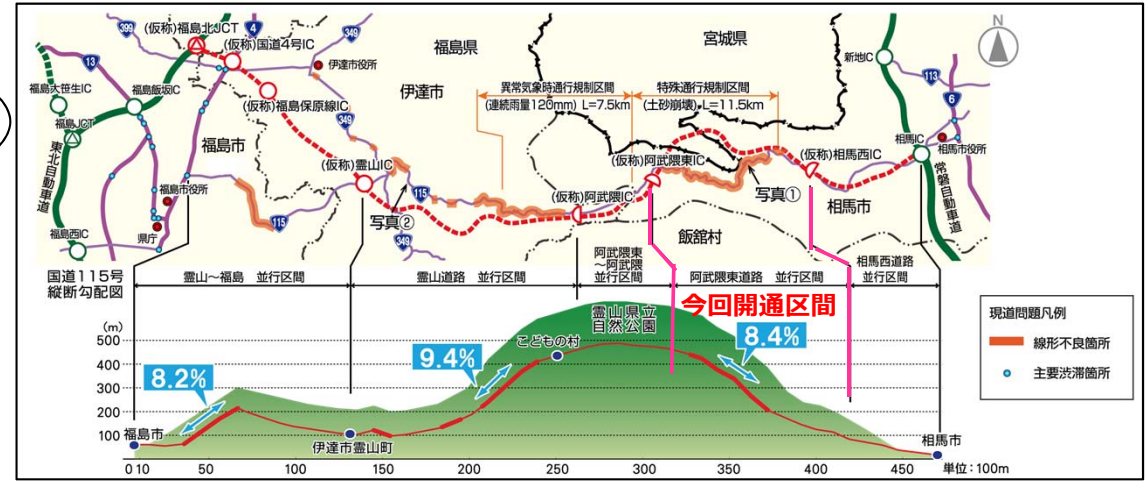
期待される効果③ 救急医療施設への速達性・搬送中の安定性向上

- ◆ 相馬市等の沿岸部は、第三次救急医療施設がないため、福島市にある福島県立医大病院へ約 8 割が搬送
- ◆ 線形不良箇所が多く、消防署からは搬送時の課題が指摘。道路整備による安定走行で患者負担が軽減
- ◆ 相馬市から福島県立医大病院までの搬送時間が約21分短縮され、相馬市における60分圏域人口も大幅に増加

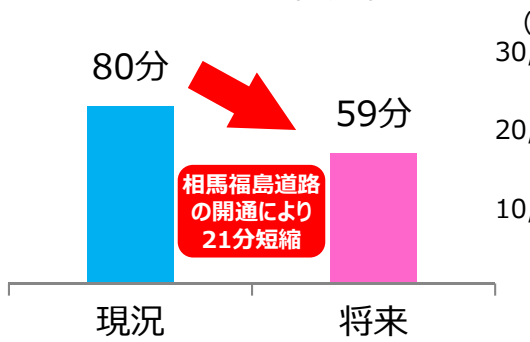
▼第三次救急医療施設への搬送割合 (H21~H27)



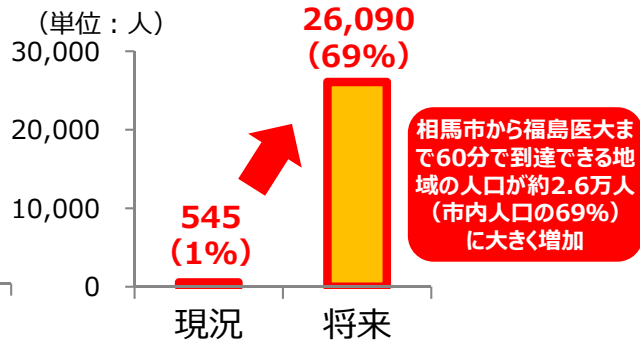
▼国道115号の線形不良箇所



▼相馬市役所→福島県立医大病院への搬送時間短縮



▼福島県立医大病院60分圏人口の変化(相馬市)



【霊山道路並行区間】



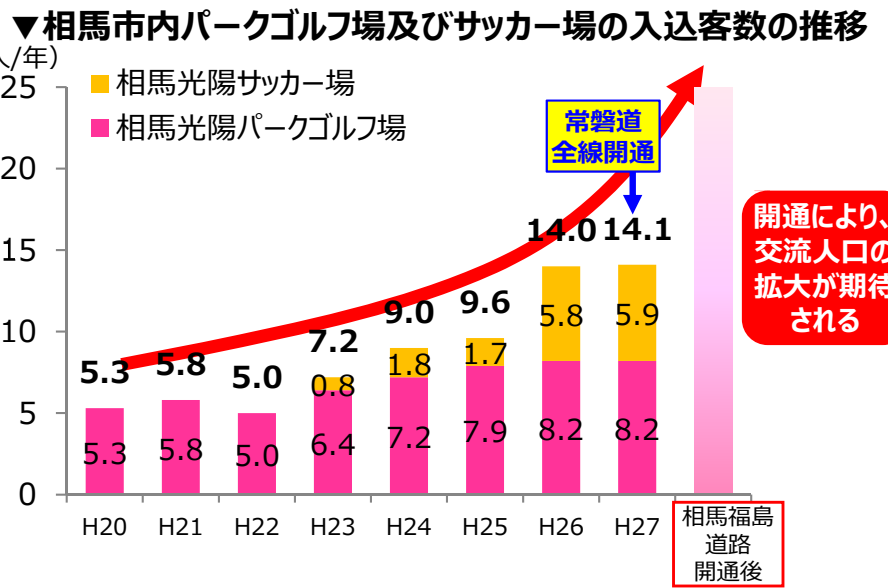
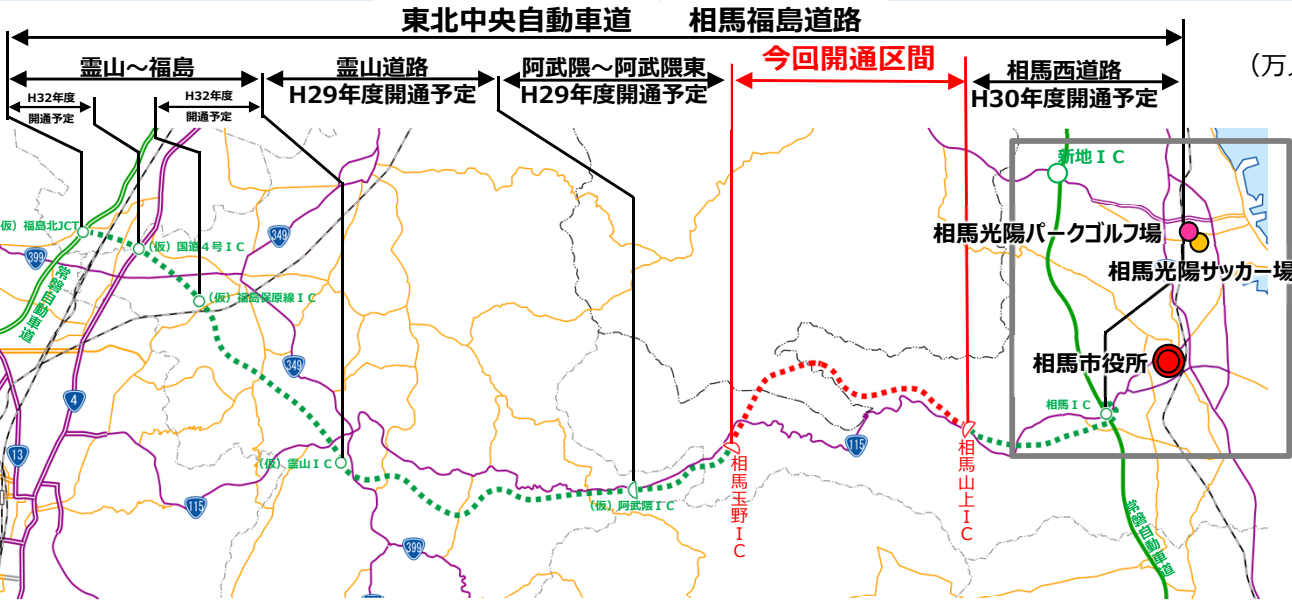
【阿武隈東道路並行区間】

【相馬消防署の声】

■ 国道115号は急カーブや急勾配等の区間が多くあり、緊急車両も安定した走行が出来ず患者に負担を掛けている。

期待される効果④ 交流人口拡大を支援

- ◆ 相馬市ではスポーツ交流人口の拡大を目指した取り組みを促進し、相馬市光陽地区にパークゴルフ場やサッカー場等、東北最大級となる充実したスポーツ施設を整備
- ◆ 相馬福島道路開通により内陸方面へのアクセスが向上し、更なるスポーツ交流人口の拡大が期待



スポーツ施設の充実によりスポーツを通じた交流人口の拡大を目指す

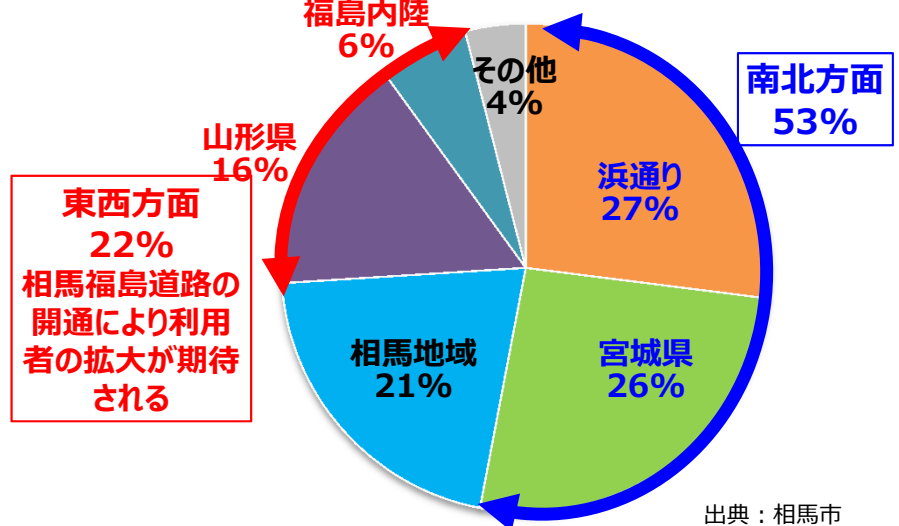
相馬光陽パークゴルフ場

東北最大級のパークゴルフ場
敷地面積：118,776㎡(東京ドームの約2.6倍)
9コース81ホールの国際認定コース

相馬光陽サッカー場

福島県内または東北内の高校生や社会人の各種大会を開催
約11ヘクタール
天然芝コート：3面
人工芝コート：2面 (FIFA・JFA公認)
練習用コート：1面

▼常磐道全線開通記念パークゴルフ大会 参加者 (約300名) 地域別 (H27.3.15) 出典：相馬市



出典：相馬市